

すべての子どもへの心理的・教育的援助のあり方

I 研究の内容

(1) 学校教育相談についての理論学習

今年度も昨年度と同様、学校教育における教育相談についての基本的な学習から始めることにした。部員が相互に、参加した研修会で学習してきた内容や、各自が読んだ本を紹介しあい、学習を進め、その過程で助言者の指導も受けた。

- ・ソーシャルスキルについて
- ・アサーショントレーニングについて
- ・QUアンケートについて
- ・小中学生への携帯電話の普及に伴う教育的諸問題について

(2) 専門家を講師に招いての研修

携帯電話が小中学生へ普及することに伴う教育的諸問題について、昨年度から様々な場面で話題となっていた。そこで、今年度はNTT-docomoから専門家を招き、「ケータイ安全教室」を実施した。この研修で実施したものは、保護者向けのものであったが、小学生向け、中・高校生向けのものもあり、PTAでの学習会や生徒への学習会も有効と思われた。

(3) 授業研究

前年度までの研究では、アサーショントレーニングをとりいれた授業を実施し、「自分の気持ちを上手に伝えること」は、練習次第で上達できるという考えを生徒にも広めていこうと取り組んだ。今年度は、何校かで実施しているQUアンケートの結果から、ソーシャルスキルトレーニングの必要性があげられた。アサーショントレーニングも、ソーシャルスキルトレーニングも、どちらも思いを的確に表現したり、相手の話を受容的に受け入れたりする対人関係の学び直しの場と考える事ができる。

対人関係の基礎には自己肯定感が必要であるという考え方から、今年度は、エゴグラムをとり入れ、自分の考え方の傾向を知ることから自己肯定感を培う授業と、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、自己の成長を友達に伝えることで自己肯定感を培う授業を実施した。

1回目

- ア 日時 平成20年9月3日(水)
イ 場所 塩山北中学校 1年教室
ウ 題材 「望ましい集団をつくるーエゴグラムから自分を知るー」
エ 授業者 倉田 憲一 教諭
オ ねらい 自分を肯定的に認め、自分らしさに自信を持ち、自分を価値あるものとして思う心を育てる。

2回目

- ア 日時 平成21年1月28日(水)
イ 場所 山梨北中学校 3年4組教室
ウ 題材 「望ましい人間関係をつくる
ー成長した自分を友達に伝えよう・友達の話を聞こうー」
エ 授業者 飯島 聖華
オ ねらい 自分の成長を友達に伝えることにより、自己肯定感を培う。
友達の話を聞くときの受容的な態度を育てる。

II 成果と課題

- ・理論学習をすすめる中で、カウンセリングマインドを学ぶことができた。
- ・昨年度、いろいろな場面で小中学生へ携帯電話が普及してきたことに伴う諸問題が語られたが、今年度は、どのような学習会が可能なのか、一つの方法を知ることができた。それによって、各校での取り入れ方の目安もつくこととなった。
- ・今年度は、中学校で2回の授業を実践した。

授業後の反省会から、エゴグラムを取り入れた授業は、自己を知りよりよい自分でありたいという気持ちを素直に持っている中学生に対し、自己を振り返るきっかけを与えることとなり、有効な機会であるという意見がでた。また、遊び方の変化や、メール・携帯電話の普及が一因となって、面と向かってコミュニケーションを行うということが減っている生徒には、学校が意図的にソーシャルスキルトレーニングを行うことで、健全な対人関係の学び直しをさせる必要があるという意見も出た。また、もっと若い小学生の時にこそ、健全な対人関係の育成を意図してソーシャルスキルトレーニングを取り入れていってはどうかという意見も出された。

これらのことから、生徒のソーシャルスキルを向上させる機会を、いかにして学校現場に取り入れ、よりよいコミュニケーションを目指すように心がけさせていくことが、今後も課題といえよう。

(部長 飯島聖華)